

爺ヶ岳西沢

北 ア

1995年4月16日

メンバー：L岩 毅 山崎義男, 鈴木鉄也

4/16 曇・雲海 数年前から考えていたの上は晴 爺ヶ岳西沢に行く。ルートは大谷原から夏道沿いに西俣出合に行きそこから西沢をつめて、赤岩尾根の基部に辿りつく。雪は大谷原から有り、はじめからシール登行となる。

この日は比較的暖かくシャツ1枚での登行となる。雲の切れ間から垣間見る主稜線はヒマラヤ巒を見せて絶景であった。ただし、この暖かさに雪崩要注意に感じられた。先行するトレースが有った。7時すぎ、下山する5人パーティーに会う。彼らによると、14日に30cmほどの新雪が降っており、昨日はかなり雪崩れたとのこと。今日はどうか、注意しつつ進む。気温が上がってくると、案の定、周囲の険しいところから、鋭い音

が出始める。デブリを避けつつ登る。鈴木さんは赤岩尾根基部まで行き、鹿島槍を望んだが、あとの二人は途中で安全な岩影に逃げ、そこまでとした。

下りはもう雪崩の中のダウンヒルとなる。結構あせるとコケルもので、いわんや、めったに利かないセーフティーが利いてスキーが外れてしまったりする。丁度、そこが、今、できだばかりのホヤホヤのデブリの末端だったりする。おまけに、滑り始めたころから、西沢は深い霧に包まれてしまう。注意しながら登った登りのトレースに忠実に従いつつ、しじゅう鳴り響く雪崩の音に恐怖しつつ滑った。なかなか得難く、かつ、2度と得たくない経験をする。恐怖のダウンヒルは、しかし20分ほどで終わり、あとは、雪を拾いつつ大谷原まで滑る。

西沢にまた来るならば、5月連休以降の方が良いようである。

(タイム)大谷原(1080m)6:30—西俣出合(1320m)7:50—西沢2020m 点10:40—西沢安全な岩影(2190m)11:30—赤岩尾根基部(2350m)12:30—西沢安全な岩影12:30—西俣出合13:00—大谷原13:30 (岩 毅 記)

